



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月9日

上場会社名 セレンディップ・ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7318 URL <https://www.serendip-c.com>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 竹内 在  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 小谷 和央 TEL 052 (222) 5306  
四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	9,493	41.1	397	933.9	469	—	378	983.2
2023年3月期第2四半期	6,727	1.2	38	3.5	2	△58.1	34	163.5

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 849百万円 (—%) 2023年3月期第2四半期 △173百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	87.49	84.36
2023年3月期第2四半期	7.94	7.68

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	17,082	5,345	31.3
2023年3月期	16,168	4,479	27.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 5,343百万円 2023年3月期 4,479百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,100	25.7	600	84.5	640	84.2	520	66.4	120.11

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 1株当たり当期純利益の予想数値の算出に使用した発行済株式総数は、現在予想される期中平均株式数であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	4,561,441株	2023年3月期	4,550,320株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	229,280株	2023年3月期	228,280株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	4,326,443株	2023年3月期2Q	4,403,861株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が2023年5月より5類に引き下げられたことや雇用・所得環境が改善する中で、緩やかな回復が続くことが期待されている一方、物価上昇や金融資本市場の変動等の影響、世界的な金融引き締め・中国経済の先行き懸念など海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクによって先行きが不透明な経営環境が続いております。

当社グループの事業領域である「モノづくり（経営）」におきましては、半導体を中心とした部品供給不足が解消し、自動車メーカーの国内生産は高水準で推移しております。

このような状況のもと、当社グループは、社会環境や産業構造の急激な変化を敏感に察知して、時代にフィットする「経営の近代化」を実現するため、経営執行にコミットしたプロ経営者をチームで派遣し現場・財務・経営の見える化を徹底し、バックオフィスの生産性向上や製造現場での幅広いITの活用に取り組み、ムダ・ムリ・ムラの排除を実施してまいりました。

当社グループのもう一つの事業領域である中堅・中小企業の「事業承継（投資）」におきましては、中堅・中小企業の事業承継問題が深刻化する中で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済・社会活動が停滞したことに後押しされ、事業承継手段としてのM&Aニーズ（譲渡ニーズ）が一段と増加いたしました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は、前年同四半期に比べ2,766,101千円増加し、9,493,297千円（前年同四半期比41.1%増）、営業利益397,834千円（前年同四半期比933.9%増）、経常利益469,557千円（前年同四半期比17713.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、378,541千円（前年同四半期比983.2%増）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### (モノづくり事業)

当セグメントには、三井屋工業株式会社、佐藤工業株式会社、天竜精機株式会社及び株式会社アペックスのモノづくり企業が含まれております。

「オートモーティブサプライヤー（自動車内外装部品製造、自動車精密部品製造）」におきましては、半導体等の部品供給不足が解消し、自動車メーカーの国内生産は高水準で推移していることに加えて、製造スタッフの多能工化を推進し更なる生産性向上を実現したことで、固定費比率が低下いたしました。

「FA装置製造」におきましては、受注確定に遅れが生じております。

「試作品製作」におきましては、2023年1月10日付で株式会社アペックスの全株式を取得し連結子会社化し、当第2四半期累計期間においては、期首から取り込んでおります。

この結果、当セグメントの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は前年同四半期に比べ2,493,124千円増加し、8,801,908千円（前年同四半期比39.5%増）、セグメント利益は前年同四半期に比べ240,355千円増加し、338,454千円（前年同四半期比245.0%増）となりました。

#### (プロフェッショナル・ソリューション事業)

当セグメントには、当社及びセレンディップ・テクノロジーズ株式会社が含まれております。

「コンサルティング」におきましては、事業承継課題や経営課題を抱える中堅・中小企業が今後益々増加していく社会的背景があり、中堅・中小モノづくり企業から事業承継案件、事業再生案件の当社への持ち込みが増加しております。また、中堅・中小企業の基幹システムの再構築需要の増加により、ITコンサルティングのニーズも増加していることに伴い、当社コンサルティング事業部の売上は前期比60.4%増と伸長し、当セグメントの増収要因となりました。一方で、経営課題を抱える中堅・中小企業の課題解決・成長に更に寄与するための積極的な人材採用を継続的に実施しております。

「エンジニア派遣・受託開発」におきましては、中堅・中小企業の成長を支援するため、経営基盤の強化、エンジニアのリスキリング強化、当セグメントの成長に寄与するため当社コンサルティング事業部との連携による新しいIoTソリューションの開発とDXに注力しております。

この結果、当セグメントの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は前年同四半期に比べ73,090千円増加し、674,656千円（前年同四半期比12.2%増）、セグメント損失76,644千円（前年同四半期はセグメント損失26,133千円）となりました。

#### (インベストメント事業)

当セグメントには、セレンディップ・フィナンシャルサービス株式会社が含まれております。

従来から、事業承継問題に機動的に対応すべく、案件の発掘・開拓に注力して参りました。モノづくり企業を中心とした再生型事業承継支援サービス、フィナンシャル・アドバイザー等の企業経営サポートを積極的に進めて

おり、特にフィナンシャル・アドバイザー案件数の増加が増収・増益に寄与いたしました。また、2023年2月に組成した「日本ものづくり事業承継基金1号投資事業有限責任組合」からの管理業務に伴う報酬の受取も発生しております。

この結果、当セグメントの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は前年同四半期に比べ219,879千円増加し、240,329千円（前年同四半期比1,075.2%増）、セグメント利益136,024千円（前年同四半期はセグメント損失33,485千円）となりました。

## (2) 財政状態の状況

### (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ173,953千円増加し、7,915,217千円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が565,258千円減少した一方で、現金及び預金が610,649千円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ739,756千円増加し、9,166,957千円となりました。これは主に、投資有価証券が時価評価等により708,132千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は17,082,174千円となり、前連結会計年度末と比べ913,709千円の増加となりました。

### (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ265,547千円増加し、6,072,214千円となりました。これは主に、未払金が134,339千円減少したことや税金の納付により未払法人税等が108,556千円減少した一方で、電子記録債務が477,663千円増加したこと、短期借入金が100,000千円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ217,552千円減少し、5,664,890千円となりました。これは主に、投資有価証券を時価評価したことにより繰延税金負債が211,780千円増加した一方で、長期借入金が436,490千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は11,737,105千円となり、前連結会計年度末に比べ47,995千円の増加となりました。

### (純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ865,714千円増加し、5,345,068千円となりました。これは主に、利益剰余金が378,541千円増加したこと、その他有価証券評価差額金が471,022千円増加したことによるものであります。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ610,649千円増加し、3,622,721千円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、1,640,204千円となりました。（前年同四半期は386,404千円の獲得）

これは主に、減価償却費534,905千円、売上債権の減少額565,258千円、仕入債務の増加額439,841千円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、590,808千円となりました。（前年同四半期は272,674千円の使用）

これは主に、「モノづくり事業」セグメントにおいて生産能力増強のため設備投資を行ったことによる有形固定資産の取得による支出574,609千円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、438,788千円となりました。（前年同四半期は344,753千円の使用）

これは主に、長期借入金の返済による支出511,371千円、短期借入金の純増額100,000千円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、「モノづくり事業」セグメントにおいて、上期の自動車メーカーの国内生産が想定以上に高水準で推移したこと等により、通期連結業績予想を修正しました。詳細については、本日（2023年11月9日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,012,071	3,622,721
受取手形、売掛金及び契約資産	3,294,581	2,729,323
営業投資有価証券	80,000	80,000
商品及び製品	77,360	74,727
仕掛品	329,412	350,041
原材料及び貯蔵品	373,636	500,636
未収入金	468,667	474,629
その他	105,533	83,137
流動資産合計	7,741,263	7,915,217
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,221,260	4,230,249
機械装置及び運搬具	5,074,441	5,127,676
工具、器具及び備品	8,945,305	8,993,228
土地	2,149,797	2,149,797
リース資産	410,251	439,196
建設仮勘定	140,239	167,755
減価償却累計額	△14,963,865	△15,112,641
有形固定資産合計	5,977,429	5,995,261
無形固定資産		
ソフトウェア	90,401	81,888
ソフトウェア仮勘定	884	8,870
のれん	65,494	56,160
リース資産	3,927	2,244
無形資産	19,250	15,750
その他	4,517	4,497
無形固定資産合計	184,474	169,411
投資その他の資産		
投資有価証券	1,725,690	2,433,822
関係会社株式	13,045	19,066
長期前払費用	254,805	265,578
繰延税金資産	133,848	138,496
保険積立金	16,662	18,744
長期営業債権	301,522	335,878
その他	122,044	129,059
貸倒引当金	△302,322	△338,362
投資その他の資産合計	2,265,296	3,002,284
固定資産合計	8,427,200	9,166,957
資産合計	16,168,464	17,082,174

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,853,194	1,815,371
電子記録債務	740,194	1,217,858
短期借入金	600,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	799,877	724,996
リース債務	47,301	48,727
未払金	517,614	383,275
未払費用	150,572	183,999
前受金	58,160	82,133
未払法人税等	227,529	118,973
未払消費税等	171,224	162,431
賞与引当金	387,242	304,925
製品保証引当金	15,135	11,589
受注損失引当金	21,928	15,851
設備関係支払手形	172,024	235,710
その他	44,668	66,372
流動負債合計	5,806,667	6,072,214
固定負債		
長期借入金	4,639,400	4,202,910
リース債務	113,856	116,852
資産除去債務	54,753	54,874
退職給付に係る負債	267,007	271,047
繰延税金負債	703,894	915,675
その他	103,530	103,530
固定負債合計	5,882,442	5,664,890
負債合計	11,689,110	11,737,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,114,030	1,121,203
資本剰余金	2,000,852	2,008,014
利益剰余金	1,181,782	1,560,323
自己株式	△104,819	△104,819
株主資本合計	4,191,845	4,584,721
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	287,508	758,531
その他の包括利益累計額合計	287,508	758,531
新株予約権	—	1,815
純資産合計	4,479,353	5,345,068
負債純資産合計	16,168,464	17,082,174

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	6,727,196	9,493,297
売上原価	5,732,184	7,797,034
売上総利益	995,011	1,696,262
販売費及び一般管理費	956,531	1,298,428
営業利益	38,479	397,834
営業外収益		
受取利息	16	14
受取配当金	28,179	32,428
持分法による投資利益	—	6,020
為替差益	49,642	36,047
受取補償金	23,381	56,695
その他	32,176	14,474
営業外収益合計	133,395	145,680
営業外費用		
支払利息	46,542	27,999
貸倒引当金繰入額	50,343	36,039
営業外支払手数料	10,853	1,833
訴訟関連費用	59,035	5,538
その他	2,464	2,545
営業外費用合計	169,239	73,956
経常利益	2,636	469,557
特別利益		
固定資産売却益	—	108
保険解約返戻金	9,980	—
受取保険金	138,760	—
特別利益合計	148,740	108
特別損失		
固定資産売却損	183	17
固定資産除却損	0	254
役員特別功労金	30,000	—
特別損失合計	30,183	272
税金等調整前四半期純利益	121,192	469,393
法人税、住民税及び事業税	76,628	120,829
法人税等調整額	7,817	△29,977
法人税等合計	84,446	90,851
四半期純利益	36,746	378,541
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,800	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	34,946	378,541



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	36,746	378,541
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△210,338	471,022
その他の包括利益合計	△210,338	471,022
四半期包括利益	△173,591	849,564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△175,391	849,564
非支配株主に係る四半期包括利益	1,800	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	121,192	469,393
減価償却費	490,625	534,905
のれん償却額	7,085	9,333
株式報酬費用	0	4,662
賞与引当金の増減額 (△は減少)	23,662	△82,317
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△11,703	4,039
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	7,197	△6,077
受取利息及び受取配当金	△28,195	△32,442
受取保険金	△138,760	—
支払利息	46,542	27,999
持分法による投資損益 (△は益)	—	△6,020
固定資産売却損益 (△は益)	183	△90
固定資産除却損	0	254
役員特別功労金	30,000	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△31,264	565,258
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△21,310	△85,171
未収入金の増減額 (△は増加)	40,796	△5,962
仕入債務の増減額 (△は減少)	△277,104	439,841
未払金の増減額 (△は減少)	3,098	△68,702
未払費用の増減額 (△は減少)	△4,377	33,630
前受金の増減額 (△は減少)	43,492	23,972
未払又は未収消費税等の増減額	47,070	18,168
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△61,887	△4,063
その他	△22,433	19,844
小計	263,911	1,860,455
利息及び配当金の受取額	28,195	32,442
利息の支払額	△46,517	△27,938
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	22,055	△224,755
保険金の受取額	138,760	—
補助金の受取額	10,000	—
役員退職功労金の支払額	△30,000	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	386,404	1,640,204
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△7,000	—
定期預金の払戻による収入	254,001	—
有形固定資産の取得による支出	△542,509	△574,609
有形固定資産の売却による収入	—	316
無形固定資産の取得による支出	△16,909	△9,271
保険積立金の積立による支出	△11,698	△2,082
保険積立金の解約による収入	45,388	—
その他	6,051	△5,161
投資活動によるキャッシュ・フロー	△272,674	△590,808
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△7,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△253,428	△511,371
自己株式の取得による支出	△53,220	—
リース債務の返済による支出	△26,154	△27,417
その他	△4,950	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△344,753	△438,788
現金及び現金同等物に係る換算差額	49	42
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△230,973	610,649
現金及び現金同等物の期首残高	3,223,225	3,012,071
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,992,251	3,622,721

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	モノづくり 事業	プロフェッ ショナル・ ソリューション事業	インベスト メント事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,308,783	403,012	15,400	6,727,196	—	6,727,196
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	198,553	5,050	203,603	△203,603	—
計	6,308,783	601,565	20,450	6,930,799	△203,603	6,727,196
セグメント利益又は損失(△)	98,098	△26,133	△33,485	38,479	—	38,479

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	モノづくり 事業	プロフェッ ショナル・ ソリューション事業	インベスト メント事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,801,428	451,689	240,179	9,493,297	—	9,493,297
セグメント間の内部売上高又は振替高	480	222,967	150	223,597	△223,597	—
計	8,801,908	674,656	240,329	9,716,894	△223,597	9,493,297
セグメント利益又は損失(△)	338,454	△76,644	136,024	397,834	—	397,834

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。